



114
A 21

三四月
七月二十九日

大限有毛屋後藤伊藤



公債ヲ新募シ及テ銀行ヲ設立センコトヲ
 請フノ議
 昨年以來紙幣消却ノ元資ヲ増加スルノ議ヲ實行セラ
 レ紙幣ノ處置粗ホ其緒ニ就クト雖氏尚ホ今日ニ於テ
 是ヲ完整セルムルニ緊要ナルニ様ノ處置アリ其第一
 ハ令一層多額ナル紙幣ノ消却ヲ速ニシテ以テ現時ノ

參議大隈重信
 參議伊藤博文

大隈正
 大隈重信
 大隈重信
 大隈重信



通貨カ世間ノ需用ニ超過スルヤ將タ適應スルヤヲ檢
按シ若シ果シテ超過スルハ之ヲ隱藏シテ流通額ヲ
減殺シ若シ適應スルハ之ヲ縱ルシテ其疏通ヲ遂ケ
世間ノ需求ニ應シテ自由ニ伸縮スルヲ許ルシ又悠久
ノ歲月ヲ費サスレテ可成速ニ海外ノ金銀ヲ邦内ニ誘
入シ之ヲ儲存シテ紙幣ノ交換ニ充備シ何時ニモ政
府ノ意ニ隨ヒ正金通用ニ變シ得ヘキノ準備ヲナシ斯
クシテ尚ホ一層通貨ノ信用ヲ倍加セシムルノ方案是
ナリ第二ハ前述ノ方案ヲ巧妙ニ施行シ且ツ一般ノ便
益ヲ生スルカ為メニ一大正金銀行ヲ設立スルノ方案

是ナリ
前述セル第一ノ處置ヲ實行セシカ為メ今一種ノ公
債ヲ新募スルヲ以テ必要トス而テ是公債ノ價額性質
ヲ略記スレハ第一紙幣ヲ以テ應募シ正金ヲ以テ返償
スルヲ約スルナリ第二募集ノ負額ヲ五千万円トシ毎
年百餘万円宛五十ヶ年若シクハ四十ヶ年ニ之ヲ償了
スルナリ第三其利子ヲ其分トシ募集實價ヲ呼價トシ
ク百円トシ一株ヲ百円トスルナリ第四毎年元金償却
ノ時ニ於テ抽籤ヲ以テ若干ノ賞與金ヲ附與シ以テ應
募者ヲ獎勵スルナリ第五人民ノ請求ニ應シテ何時ニ

テモ是公債証書ヲ紙幣ト交換シ或ハ紙幣ヲ公債証書
ト交換スルナリ第六正金ヲ以テ應募スルヲ聽ルシ金
楮ノ時價ニ應シテ之ヲ紙幣ニ改算シ公債証書ヲ附與
スルナリ第七新定スル募債條例ト是公債ニ關スル政
府ノ法律トヲ遵守スルノ約束ヲ以テ外國人ノ應募ヲ
允許スルナリ
新募公債ヲシテ以上ノ性質ヲ具備セシメハ人民ハ紙
幣ト公債証書ト自由ニ交換シ得ルカ故ニ通貨欠乏ノ
實勢アルハ人民ハ公債証書ヲ納テ紙幣ヲ引出シ斯
クシテ通貨ノ員額ヲ需用適應ノ度ニ伸暢スヘク又之

ニ反シテ通貨ノ過多ナルハ紙幣ヲ納テ公債証書ヲ
引出シ斯クシテ過多ノ通貨ヲ減縮シ之ヲ需用適應ノ
有様ニ廻收セシムルニ至ラム是則チ是方案ニ屬スル
利益ノ寡モ大ナル者ナリ又何時ニテモ紙幣ト公債証
書ト自由ニ交換シ得ルハ便利ニ加ルニ元利金附與ノ
外一種ノ賞與金アリ故ニ人民ハ是ノ便利ト不時ノ賞
與得益トヲ求ムルカ為ニ充分應募スルニ至ルヘシ又
金銀ハ世界ニ流通シテ其盈處ヲ去リ其虛處ニ就キ平
均ヲ求ムルハ性質アル者ナレハ今海外二三ノ貿易國
ニ於テハ盈漲シ國內ハ稀乏スルノ時ニ當テ其平均ヲ

得ルノ路ヲ啓キ何等ノ障碍ヲモ為サシメサル安全ノ
手段ヲ用ヒ我カ法律制御ノ下ニ海外ノ金銀ヲ流入セ
シムルヲ以テ得策トス而テ其最モ神速ナル術策ハ唯
是ノ公債法アルノミ又是ノ方案ヲ實施シテ海外ノ金
銀ヲ邦内ニ吸入スルニ當リ下ニ掲ル銀行ノ作用ニ因
テ入來ノ金銀ヲ政府ニ引上ルノ手段ヲ盡サハ必能ク
巨額ノ正金ヲ國庫ニ儲存スルヲ得ヘシ果シテ然ラハ
是則テ紙幣ニ準備ノ正金ヲ増加スル者ニシテ漸次正
金通用ニ變換スルノ地歩ヲ形ラン是レ所謂國人ヲレ
レテ益々通貨ノ信用ヲ倍加セシムル者ナリ

然ラハ則テ是方案ハ現時通貨ノ多少ニ関スル惑迷ノ
思想ヲ國人ノ胸裏ヨリ一掃シ去テ需要適應ノ度位ヲ
公明ニ標示認識セシムルノ機會ヲ與ヘ又正金ヲ儲存
シテ紙幣ヲ準備ヲ増シ正金通用ノ地歩ヲ速ニ進占セ
シムルニ是ル最モ安全ニシテ危儉ナキ一舉兩全ノ得
策タルヲ信スルナリ
然レハ前述ノ方案ニ牽連シ且ツ内外市場ノ便宜ヲ謀
ルカ為ニ甚緊要ナル者ハ一大正金銀行ノ設立ナリ抑
モ海外ヨリ吸入スル金銀ヲ引揚ケ之ヲ市場ニ放出セ
シメサラント欲スルニハ銀行ノ作用ニ賴ラサルヘカ

ラス又市場貿易ノ景況ニ從テ外國為換料ヲ高低シテ
正金ヲ集散シ其濫出ニ幾分ノ控制ヲ與ヘ又廣ク海外
ノ各地ニ為換ノ組合ヲ為シ邦商ヲシテ外國銀行商
抑制ヲ免レシムル者ハ是亦大銀行ノ作用ナリ且ツ前
述ノ方案ニ因テ國內ヲ正金通用ト為シ或ハ交換ノ準
備アル紙幣ト為シ政府ヨリ紙幣ヲ發行スルヲ止メ銀
行ヲシテ正金交換ノ銀行札ヲ發行セシメント欲スル
ニハ一大銀行ナカルヘカラス又為換料ノ作用ニ因テ
為換ノ便ヲ益シ併テ金利ノ高低ヲ規則立テント欲ス
ルニハ其標準タルヘキ一大銀行ナカルヘカラス其他

政府ノ出納ニ関シ「バンク、オフ、エンゲランド」ノ英政府
ニ於ル「バンク、デ、フランス」ノ佛政府ニ於ケルカ如ク親
密ノ關係ヲ保テ政府ノ代人ト為リ財務上ニ於テ政府
ノ為ニ勞役スル者ヲ設ケント欲セハ又一大銀行ナカ
ルヘカラスナルナリ今日ニ於テ既ニ正金銀行ノ設有テ
前述セル事務ノ幾分ヲ實行セサルニアラスト雖氏其
規模結構ノ狭小ナルカ為ニ未タ充分ノ成績ヲ舉ルニ
至ラス故ニ今是銀行ト合併シテ資本額千五百万圓以
上ノ大銀行ヲ設立シ其株主ヲ廣ク人民ニ募リ政府モ
亦々株主ト為テ其幾分ヲ分有シ充分ニ其作用ヲ施サ

シメハ内外ノ貿易公私ノ財務ニ於テ必能ク前述ノ便
益ヲ社會ニ與ルヲ得ル斯ニテ後是銀行ヲ模範ト爲シ
之ニ牽合セシムルハ國內許多ノ小銀行ヲ組成シ性
質トシ漸次改良セシムルヲ企望シ得ヘキナリ
前述セル公債新募及ニ銀行設立ハ今日ノ財政第一層
完整ニ帰セシムルニ於テ蓋シ欠ク可ラズ其ノ方策ナ
リ右謹テ裁可ヲ被ラントテ仰望ス以上西件ノ方案ニ
關スル詳細ノ諸項ハ應テ續テ之ヲ進覽スヘシ

此ノ案ハ...

